令和3年度

三河小中学校長会 総会

三河小中学校長会は、これまで相互の連携を密にし、尾張地区や名古屋市の校長会とも協力をしながら、児童生徒一人一人を大切にする三河教育の質の向上を図り、保護者や地域社会の期待に応える教育活動を展開してきた。先輩の情熱と英知によって構築・継承された教育は、着実にその成果を上げてきている。

一方、昨年度は新型コロナウイルス感染症という未曽有の事態に直面した。年度当初から 休校を余儀なくされたが、学校再開後、新しい生活様式の中で、いかによりよい教育活動を 展開すべきか、私たち校長は自ら熟慮・決断し、行動してきた。

今年度、引き続き感染症拡大防止に努めつつ、新学習指導要領やGIGA スクール構想に沿った「児童生徒の学び方改革」、給特法改正による「教員の働き方改革」を推進しなければならない。併せて、これまでの課題である「児童生徒の生きる力の育成」、「いじめ・不登校の解決」、「若手教員や中堅教員の育成」、「不祥事の根絶」等に対応する必要もある。

私たち三河小中学校長会は、487名の会員が「連携・協働・創造」のスローガンを念頭に、 三河教育研究会とも相携え、教育を取り巻く諸課題の積極的な解決を図り、持続可能な社会 と幸福な人生の創り手の育成に総力を結集して努力していく所存である。

令和3年5月11日

三河小中学校長会

令和3年度 三河小中学校長会組織

			1
会 長	柵 木 智 幸	岡 崎・甲 山 中	
副会長	波多野 愼 次	豊川・牛久保小	保科克之豊田・挙母小
副会長	伊 奈 希依子	豊 橋・前 芝 中	平 井 敦 田 原・田 原 中
顧問	加藤博之	豊 田・若 園 中	吉野嘉郎 みよし・黒笹小
顧問	岡 田 守	北設楽・東 栄 中	
			•
会計監査	中 村 僚 志	刈 谷·刈谷南中	﨑 下 謙 二 豊 橋·中 部 中
庶 務	彦 坂 登一朗	田原・田原中部小	原 田 憲 一 豊 橋·南 部 中
庶 務	尾出知子	刈 谷・小高原小	
庶務補佐	遠 山 祐 幸	蒲 郡・竹 島 小	
			•
会 計	近藤文彦	岡 崎・梅 園 小	立 川 恵 理 豊 川・御 津 中
会計補佐	都 築 智	安 城 · 二 本 木 小	
			•

	法	制	上	原	就	久	安	城・安城南中	教育条件	岡	本	健	=	安	城・作野小
専門	学校	経営	本	多	泰	裕	知	立・知立南中	進 路	鈴	木	直	樹	豊	田・足助中
委員長	保健体育		佐	野	吉	則	刈	谷・朝日中	福祉安全	下	田	久身	美子	み。	はし・中部小
貝	給	食	村	松	千	里	西	尾・寺津中	生徒指導	宮	林	秀	和	豊	橋・青陵中
	特別支	援教育	木	下	直	人	西	尾・矢田小	修学旅行特別	児	玉	洋	行	岡	崎・翔南中

	岡	崎	〇 伊	豫田		守	竜 海 中	高 浜	〇加	藤	応	子	吉	浜	小
	畄	崎	小	田	昌	男	岡 崎 小	みよし	〇吉	澤	通	記	三	好	中
	岡	崎	大	西	和	夫	矢 作 北 中	幸田	ОШ	本	勝	秀	幸	田	中
常	碧	南	〇立	花	明	徳	西端小	豊 橋	〇木	下	智	弘	花	田	小
任	XIJ	谷	〇中	村	僚	志	刈谷南中	豊 橋	市	Ш		徹	東	田	小
	豊	田	〇久	野	友	士	豊南中	豊橋	豊	田	聡	彦	高	豊	中
委	豊	田	深	見	_	仁	前 山 小	豊川	〇 波多	野	愼	次	牛力	久 保	小
員	豊	田	小	泉		修	上 郷 中	蒲 郡	〇小	田	高	久	西	浦	中
	安	城	〇上	原	就	久	安城南中	新城	〇安	藤	昭	彦	八	名	小
	西	尾	〇河	合	厚	志	一色中部小	田原	〇杉	田	哲	利	伊良	足湖山	甲小
	知	<u> </u>	OΞ	浦	啓	作	猿 渡 小	北設楽	〇岡	田		守	東	栄	中

(注) ○印:郡市代表

	郡	市	/	<u></u>	学	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	交	F	þ	学	₹	·····································	小	中	義	計
			小	田	昌	男	岡崎小	大	西	和	夫	矢作北中				
⇒ 元	ो <u>ज</u> र्ग	,I, -I- -	小	島	寛	史	岩津小	○伊剤	象田		守	竜海中	45	00		0.5
評	岡	崎	酒	井	洋	_	連尺小	荻	須	文	裕	葵中	47	20		67
			倉	地	耕	治	豊富小	中里	予渡	善	樹	城北中				
	碧	南	○立	花	明	徳	西端小	山	田		忍	西端中	7	5		12
			吉卓	产田	徹	也	富士松南小	◎○中	村	僚	志	刈谷南中				0.4
議	XIJ	谷	◎尾	出	知	子	小高原小	※ 佐	野	吉	則	朝日中	15	6		21
			深	見	_	仁	前山小	小	泉		修	上郷中				
		-	野	田		靖	童子山小	〇久	野	友	士	豊南中		00		100
	豊	田	鈴	木	敦	士	青木小	萩	原		孝	浄水中	75	28		103
員し			羽札	艮田		修	平井小	※鈴	木	直	樹	足助中				
	ب ر	4.1	※ 岡	本	健	=	作野小	※○上	原	就	久	安城南中	01	0		00
	安	城	鈴	木	佳	樹	桜井小	井	上	幹	夫	桜井中	21	8		29
	नारं	ы	清	水	文	克	西尾小	村	田	義	之	幡豆中	05	0	1	05
	西	尾	○河	合	厚	志	一色中部小	石	Ш	雅	春	東部中	25	9	1	35
	知	立	OE	浦	啓	作	猿渡小	※ 本	多	泰	裕	知立南中	7	3		10
	高	浜	○加	藤	応	子	吉浜小	清	水	美智	習男	南 中	5	2		7
印	みよ	にし	◎吉	野	嘉	郎	黒笹小	〇吉	澤	通	記	三好中	8	4		12
役	幸	田	藤	井		敦	中央小	ОШ	本	勝	秀	幸田中	6	3		9
役員兼務者					西	三	河 学	校数					216	88	1	305
者			○木	下	智	弘	花田小	豊	田	聡	彦	高豊中				
	曲	枟	市	Ш		徹	東田小	岡	本	雄	$\stackrel{-}{=}$	二川中	E0	99		74
※ 印	豊	橋	小	松	正	人	栄 小	中	神	健	慈	吉田方中	52	22		74
理事兼務者			稲	田	あり	ナみ	豊小	※ 宮	林	秀	和	青陵中				
兼	豊	Ш	◎○波参	多野	愼	次	牛久保小	松	平	貴	圭	南部中	26	10		36
者	豆	711	今	泉	_	義	御油小	河	原	克	明	東部中	20	10		30
	蒲	郡	平	野	正	也	蒲郡南部小	〇小	Ш	高	久	西浦中	13	7		20
印	新	城	○安	藤	昭	彦	八名小	牧	野	暢	\equiv	千郷中	13	6		19
郡	Н	原	○杉	田	哲	利	伊良湖岬小	Ц	本	哲	男	福江中	18	1		22
郡市代表	Ш	尔	大	場	勇	人	中山小	河	合	道	博	東部中	10	4		22
衣	北部	2楽	原	田	勝	宏	豊根小	○○ 岡	田		守	東栄中	7	4		11
					東	三	河 学	校数					129	53		182
					学	校	総数	汝 計					345	141	1	487

令和3年度 三河小中学校長会専門委員会の構成 (注) ◎印:委員長 ○印:県委員

郡市	委員会	法		制	教	育 条	件	学	校経	谱	進		路
岡	崎	○天野	孝志	六ツ美北中	○平	任代	竜南中	○岩瀬	竜弥	六ツ美南部小	〇山内	貴弘	矢作中
碧	南	鈴木	裕	新川小	小島	広明	日進小	加藤	誠	新川中	加藤	智子	中央中
XIJ	谷	相羽	孝彦	富士松東小	服部	孝司	小垣江小	村松	友和	平成小	〇田中	敦子	依佐美中
豊	Ш	○大槻	真哉	元城小	〇小山	幾子	市木小	○津坂	明宏	下山中	◎鈴木	直樹	足助中
安	城	◎上原	就久	安城南中	◎岡本	健二	作野小	杉浦	和明	安城南部小	○鳥居	貴之	安祥中
西	尾	石川	真司	一色東部小	齋藤	茂樹	津平小	○小嶋	隆広	吉良中	三矢	克之	福地中
知	<u> </u>	大橋	直樹	来迎寺小	福井	信也	知立南小	◎本多	泰裕	知立南中	吉富	靖	竜北中
高	浜	中井	滋	高取小	門脇	博志	高浜小	奥谷	敦子	港小	三牧	秀和	高浜中
み	よし	西條だ	かすみ	南部小	吉川	直希	天王小	板倉	広幸	三吉小	宮田	安弘	南中
幸	Ш	池田	和博	南部中	藤井	敦	中央小	伊藤	美佳	豊坂小	伊與日	田孝彦	北部中
豊	橋	〇森田	章裕	東陵中	○河合	成始	豊城中	○松河	由美子	飯村小	○石積	紀尚	東陽中
豊	Л	○鈴木	一哉	中部小	○仲田	昌弘	豊川小	○小澤	慎一	桜町小	〇井上	敏宏	一宮中
蒲	郡	廣濵	俊伸	塩津小	寺田	由雄	大塚中	岡田	敏宏	蒲郡中	加藤	英雄	三谷中
新	城	石原	清史	新城小	今泉	浩和	東郷西小	白井	秀明	鳳来中部小	中嶋	孝佳	東郷中
田	原	〇木田	剛	福江小	矢野	正明	神戸小	小笠	原真	六連小	河合	道博	東部中
北	設 楽	後藤	理恵	東栄小	○多田	桂	津具中	夏目	貴司	田口小	大谷	知二	豊根中
県	委員長				岡本	健二	作野小	本多	泰裕	知立南中	鈴木	直樹	足助中

(注) ◎印:委員長 ○印:県委員

郡市	委員会	保	健体	育	福	祉 安	全	給		食	生	徒 指	導
岡	崎	○今枝	武司	東海中	○保田	眞美	山中小	〇長谷月	勝一	額田中	○柴田	和美	北中
碧	南	石川	政仁	大浜小	○杉浦:	かおり	棚尾小	原田	朋浩	鷲塚小	石橋	涉	南 中
XIJ	谷	◎佐野	吉則	朝日中	小川	明宏	亀城小	太田	秀樹	富士松中	木野	昌孝	雁が音中
豊	Ш	○宮本	伸一	石野中	○榊原	益夫	逢妻中	○岡元	敬子	西保見小	〇長坂	安正	高岡中
安	城	水上	敏則	安城中部小	宮田	美智子	志貴小	○近藤	邦子	明祥中	三宅	隆之	桜町小
西	尾	齋藤	英二	一色西部小	今本	政勝	一色南部小	◎村松	千里	寺津中	〇山本	務	八ツ面小
知	<u> </u>	河邊	睦	知立東小	尾﨑	淳一	知立中	井上美	美智子	知立西小	小川	桂	八ツ田小
高	浜	○門脇	博志	高浜小	奥谷	敦子	港小	中井	滋	高取小	清水	美智男	南 中
み	よし	奥村	幸司	北中	◎下田:	久美子	中部小	春山	士朗	三好丘小	○都築	克章	三好丘中
幸	Ш	藤井	健一	深溝小	唐澤	満	幸田小	岡本	智	荻谷小	唐澤	満	幸田小
豊	橋	○近藤	英治	前芝小	○梅原	康史	東部中	○渡曾貞	真理子	芦原小	◎宮林	秀和	青陵中
豊	ЛІ	岩村	英幸	東部小	原田生	修一郎	代田小	大林	淳司	音羽中	星川	敏成	金屋中
蒲	郡	小島	仁志	蒲郡北部小	上田	芳裕	蒲郡東部小	大竹	浩文	形原小	〇石川	幸浩	大塚小
新	城	〇白井	稔也	東陽小	〇吉田	詩朗	鳳来中	森	誠	東郷東小	高橋	正樹	新城中
田	原	上村	徹	清田小	富田	正近	大草小	○渡邉	宏光	赤羽根小	山本	哲男	福江中
北	設 楽	原田	勝宏	豊根小	吉永	昭彦	清嶺小	村松	敦雄	田峯小	村松	敦雄	田峯小
県	委員長										宮林	秀和	青陵中

(注) ◎印:委員長 ○印:県委員

郡市	委員会	特別]支援教	女 育	修学	产旅行集	寺別	学校》	力向上	特別
岡	崎	○柴田	昌一	広幡小	◎児玉	洋行	翔南中	清水	良隆	矢作西小
碧	南	長谷	栄次	東中				多田	宏明	中央小
刈	谷	葉山	靖彦	双葉小				細川	圭子	富士松北小
豊	田	○平吹	洋子	保見中				佐藤	正一	浄水小
安	城	山本饭	建太郎	丈山小	○松永	博司	安城西中	岡戸	俊之	祥南小
西	尾	◎木下	直人	矢田小	○村田	義之	幡豆中	和田	保彦	寺津小
知	立	橋本	昭	知立小				三浦	啓作	猿渡小
高	浜	伊藤	宏	翼小				伊藤	宏	翼小
み	よし	佐久間	『章貴	緑丘小				山北	淳	北部小
幸	田	○池田	和博	南部中				伊藤	美佳	豊坂小
豊	橋	〇山内	潤次	豊岡中	○鈴木	孝昌	章南中	吉見	央	牟呂中
豊	JII	中嶋	桂	小坂井東小	ОШШ	佳宏	代田中	上松真	美一郎	一宮南部小
蒲	郡	○柴田㎏	ゆかり	中央小	○櫻間	寿人	形原中	松下	達	三谷東小
新	城	河部	拓	作手小				原田	耕三	鳳来寺小
田	原	峠	尚良	泉小				立花	英夫	衣笠小
北	設 楽	伊藤	賢修	津具小				村松	忠男	設楽中
県都	5員長				児玉	洋行	翔南中			

令和3年度 愛知県小中学校長会役員・委員

役 員

副会長	加藤	博之	豊 田・若園中	副会長	吉 野	嘉郎	ひみよし・黒 笹 小
会計監査	阿知波	早百合	豊田・小清水小				
小学校部	吉 野	嘉 郎	みよし・黒 笹 小	中学校部	加藤	博之	豊 田・若園中

地域代表

柵 木 智 幸	岡 崎・甲 山 中	波多野 愼 次	豊 川・牛久保小
加藤博之	豊 田・若 園 中	吉 野 嘉 郎	みよし・黒 笹 小
保科克之	豊 田・挙 母 小	彦 坂 登一朗	田原・田原中部小

常任委員

岡	崎	伊達	象田		守	岡	崎・竜 海 中	知	立	三	浦	啓	作	知	立・猿 渡 小
碧	南	立	花	明	徳	碧	南・西 端 小	高	浜	加	藤	応	子	高	浜・吉 浜 小
刈	谷	中	村	僚	志	刈	谷・刈谷南中	幸	田	山	本	勝	秀	幸	田・幸田中
豊	田	久	野	友	士	豊	田・豊 南 中	豊	橋	木	下	智	弘	豊	橋・花 田 小
安	城	上	原	就	久	安	城・安城南中	豊	Ш	波多	多野	愼	次	豊	川・牛久保小
西	尾	河	合	厚	志	西	尾・一色中部小	蒲	郡	小	田	高	久	蒲	郡・西 浦 中

理 事

庶	務	平	井	克	明	西	尾・西 尾	中	庶	務	都	築	孝	明	幸	田・坂 崎 小
会	計	兼	子		明	西	尾・平 坂	中	会	計	中	村	賢	司	西	尾・幡 豆 小
教育	条件	岡	本	健	=	安	城·作 野。	小	学校	経営	本	多	泰	裕	知	立・知立南中
進	路	鈴	木	直	樹	豊	田・足助	中	生徒	指導	宮	林	秀	和	豊	橋・青 陵 中
修旅	特別	児	玉	洋	行	岡	崎・翔 南	中								

専門委員会・部会 (注) ◎印:委員長・部長 ○印:副委員長

法制委員会

天	野	孝	志	岡	崎・六ツ美北中	大	槻	真	哉	豊	田・元	城	小
〇上	原	就	久	安	城・安 城 南 中	森	田	章	裕	豊	橋・東	陵	中
鈴	木	_	哉	豊	川・中 部 小	木	田		剛	田	原・福	江	小

教育条件委員会

平		任	代	岡	崎・竜	南	中	小	Щ	幾	子	豊	田・市	木	小
岡	本	健	\equiv	安	城・作	野	小	河	合	成	始	豊	橋・豊	城	中
仲	田	昌	弘	豊	川・豊	Ш	小	多	田		桂	北 設	:楽・津	具	中

学校経営委員会

岩	瀬	竜 弥	岡	崎・六ツ美南部小	津	坂	明 宏	豊	田・下 山 中
小	嶋	隆広	西	尾·吉 良 中	◎本	多	泰裕	知	立・知 立 南 中
松	河	由美子	豊	橋・飯 村 小	小	澤	慎 一	豊	川·桜 町 小

進路委員会

山	内	貴	弘	岡	崎・矢	作	中	田	中	敦	子	刈	谷・依 佐 美 中
◎鈴	木	直	樹	豊	田・足	助	中	鳥	居	貴	之	安	城・安 祥 中
石	積	紀	尚	豊	橋・東	陽	中	井	上	敏	宏	豊	川・一 宮 中

保健体育委員会

今	枝	武	司	岡	崎・東	海	中	〇佐	野	吉	則	刈	谷・朝	日	中
宮	本	伸	_	豊	田・石	野	中	門	脇	博	志	高	浜・高	浜	小
近	藤	英	治	豊	橋・前	芝	小	白	井	稔	也	新	城・東	陽	小

福祉安全委員会

保 田	眞 美	岡山	崎・山	中	小	杉	浦	かおり	碧	南・棚	尾	小
榊原	益夫	豊	田・逢	妻	中	〇下	田	久美子	みよ	し・中	部	小
梅原	康 史	豊	憍・東	部	中	吉	田	詩 朗	新	城・鳳	来	中

給食委員会

長谷川 勝 一	岡 崎・額 田 中	岡 元 敬 子	豊 田・西保見小
近 藤 邦 子	安 城・明 祥 中	〇村 松 千 里	西 尾・寺 津 中
渡 曾 眞理子	豊 橋・芦 原 小	渡邉宏光	田 原・赤羽根小

生徒指導委員会

柴 田 和 美	岡 崎・北 中	長 坂 安 正	豊 田・高 岡 中
山 本 務	西 尾・八ツ面小	都 築 克 章	みよし・三好丘中
◎宮 林 秀 和	豊 橋・青 陵 中	石 川 幸 浩	蒲 郡・大 塚 小

特別支援教育委員会

柴田昌一	岡 崎・広 幡 小	平 吹 洋 子	豊田・保見中
〇木 下 直 人	西 尾・矢 田 小	池田和博	幸田・南部中
山内潤次	豊 橋・豊 岡 中	柴 田 ゆかり	蒲 郡・中 央 小

修学旅行特別委員会

◎ 児	玉	洋	行	岡	崎・翔	南	中	松	永	博	司	安	城・安城	西中
村	田	義	之	西	尾・幡	豆	中	鈴	木	孝	昌	豊	橋・章 南	中
Щ	田	佳	宏	豊	川・代	田	中	櫻	間	寿	人	蒲	郡・形原	中

教育課題特別委員会

加藤	秀昭	豊	田・崇 化 館 中	羽根田修	豊	田・平 井 小
久 野	哲 司	豊	橋・石 巻 中	〇三 浦 孝 裕	豊	川・御津南部小
白 井	博 成	豊	川・平 尾 小	後藤克史	北	

令和3年度 教育諸団体役員

全国連合小学校長会

理	事	吉	野	嘉	郎	みよ	にし	黒	笹	小
委	員	都	築	孝	明	幸	田	坂	崎	小

東海・北陸地区連合小学校長会

理事	吉 野	嘉 郎	みよし・	黒 笹 小
----	-----	-----	------	-------

東海北陸中学校長会

理 事 加 藤 博 之 豊 田・若 園 中

愛知県中小学校体育連盟

会	長	加	藤	博	之	豊	田・若 園 中
副会	き長	神	谷	勝	則	新	城・八 名 中
"		中里	予渡	善	樹	岡	崎・城 北 中
理	事	金	子	直	己	豊	橋・南 稜 中
"	•	牧	原	宏	太	蒲	郡・塩 津 中
"	•	今	枝	武	司	岡	崎・東 海 中
"	•	後	藤	誠	二	豊	田・小 原 中
監	事	長	谷	栄	次	碧	南・東中

東海中学校体育連盟

会	長	加	藤	博	之	豊	田・若 園 中
理	事	神	谷	勝	則	新	城・八 名 中

日本中学校体育連盟

理 事 加 藤 博 之 豊 田・若 園 中

愛知県スポーツ協会

理事	加藤	博 之	豊	田・若 園 中
普及·広報 委 員	中野渡	善樹	岡	崎・城 北 中

愛知県小中学校PTA連絡協議会

副会長 柵 木 智 幸 岡 崎・甲 山 中

日本修学旅行協会愛知県支部

理 事 児 玉 洋 行 岡 崎・翔 南 中

全国修学旅行研究協会愛知県支部

理 事 児 玉 洋 行 岡 崎・翔 南 中

東海三県中学校修学旅行委員会

委 員	児	玉	洋	行	岡	崎・翔 南 中
"	松	永	博	司	安	城・安城西中
11	山	田	佳	宏	豊	川・代 田 中

愛知県教育振興会

							崎・甲 山 中
評談	義員	尾	出	知	子	刈	谷・小高原小

愛知県学校給食会

評議員	村	松	千	里	西	尾・寺 津 中
基本物資 検討委員	岡	元	敬	子	豊	田・西保見小
検査事業 委 員	渡	曾	真理	里子	豊	橋・芦 原 小
普及啓発 事業委員	長名	川名	勝	_	岡	崎・額 田 中

愛知県退職教職員互助会

理	事	柵	木	智	幸	岡	崎・甲 山 中
評請	養員	加	藤	博	之	豊	田・若 園 中
1	·	阿矢	汨波	早日	百合	豊	田・小清水小

愛知県共同募金

評議員 吉 野 嘉 郎 みよし・黒 笹 小

義務教育問題研究協議会

委 員 伊 奈 希依子 豊 橋・前 芝 中

幼児教育研究協議会

専門委員 上 田 富喜子 西 尾・花ノ木小

生徒指導推進協議会

委員 宮 林 秀 和 豊 橋・青 陵 中

道徳教育推進会議

委 員 吉 野 嘉 郎 みよし・黒 笹 小

キャリア教育推進委員会

委員 吉野 嘉郎 みよし・黒笹小

愛知県消費生活審議会

委 員 伊 奈 希依子 豊 橋・前 芝 中

愛知県教員の資質向上に関する協議会

委 員 井 上 美智子 知 立・知立西小

教育実習に関する打ち合わせ会

委 員 柵 木 智 幸 岡 崎・甲 山 中

教職員評価制度検討協議会

委員近藤文彦岡崎・梅園小

愛知県公立高等学校入学者選抜方法協議会

 委員 鈴 木 直 樹 豊 田·足助中

 専門委員 鈴 木 直 樹 豊 田·足助中

いじめ対応支援検討会議兼愛知県いじめ問題対策連絡協議会

| 委 員 | 加 藤 博 之 | 豊 田・若 園 中

愛知県教職員福利厚生会

 理事加藤博之豊田·若園中

 評議員彦坂登一朗田原・田原中部小

愛知県地域学校協働本部推進会議

委 員 遠 山 祐 幸 蒲 郡・竹島小

愛知県総合教育センター運営会議

研究委員	奥	谷	敦	子	高	浜・港	小
"	松	河	由美	美子	豊	橋・飯	村 小
"	小	嶋	隆	広	西	尾・吉」	良中
"	岡	田	敏	宏	蒲	郡・蒲 ネ	郡中

社会体験型教員研修連絡会議

委 員 中 村 僚 志 | 刈 谷・刈谷南中

愛知県学校保健会

理	事	佐	野	吉	則	XIJ	谷·朝 日原·田 原	中
監	事	平	井		敦	田	原・田原	中

愛知県青少年保護育成審議会

委員立 川恵理 豊川・御津中

愛知県要保護児童対策協議会

委員宮林秀和豊橋・青陵中

愛知県社会福祉審議会 児童福祉専門分科会

委員立川恵理豊川・御津中

あいち防災協働社会推進協議会

幹事 加藤博之 豊田・若園中

愛知県租税教育推進協議会

運営委員 平 井 克 明 | 西 尾・西 尾 中

愛知県人権教育研究会

顧	問	平	井	克	明	西	尾・	西	尾	中
副会	長	宮	林	秀	和	豊	橋·	青	陵	中

令和2年度 会 務 報 告

1 総 会

- (1) 5/8(紙面開催)
 - ◇ 役員承認、会務報告、決算・監査報告、事業計画、予算案審議

2 評議員会

- (1) 4/10(紙面開催)

- ◇ 役員、会計監査候補者の選出◇ 常任委員の選出◇ 評議員会、専門委員会の構成◇ 顧問、庶務、会計、理事の委嘱
- (2) 8 / 25 岡 崎

 - ◇ 三河教育懇談会の組織・運営 ◇ 各専門委員会の当面する課題
 - ◇ 校長研修会

「SDGs を達成するための地域特性を生かした ESD」 中部大学国際 ESD·SDGs センター准教授 古澤礼太氏 講話

- (3) 2/2 蒲郡
 - ◇ 次年度組織の構成
- ◇ 次年度行事予定
- ◇ 各専門委員会の当面する課題
- ◇ 校長研修会

「つながり」で創る学校経営を目指す各郡市の取組と課題 学校力向上特別委員会庶務 報告①

3 常任委員会

- (1) 6/16 岡 崎
 - ◇ 令和2年度総会の反省
- ◇ 三河教育懇談会の計画案
- ◇ 学校力向上特別委員会の活動計画 ◇ 各専門委員会の当面する課題
- ◇ 校長研修会「新型コロナウィルス感染症への各郡市の対応について」
- (2) 1/8 岡 崎
 - ◇ 次年度行事予定
- ◇ 補正予算案審議
- ◇ 各専門委員会の当面する課題
- ◇ 校長研修会

「児童生徒の命を守り、安全・安心に生活できる学校を目指して」 愛知県小中学校長会福祉安全委員長 講話

- (3) 2/26 蒲郡
 - ◇ 会長職務代理者の承認
 - ◇ 次年度組織の構成
 - ◇ 本年度会務報告

◇ 各専門委員会の当面する課題

◇ 校長研修会

「つながり」で創る学校経営を目指す各郡市の取組と課題 学校力向上特別委員会庶務 報告②

4 郡市代表者会

- (1) 4/10(紙面開催)
 - ◇ 令和2年度組織の構成
- ◇ 令和2年度行事予定
- (2) 10 / 13 蒲 郡
 - ◇ 一般会計中間報告
- ◇ 各専門委員会の当面する課題
- ◇ 校長研修会

「働き方改革時代の管理職に求められるタイムマネジメントスキル」 日本大学文理学部教授 佐藤晴雄氏 講話

- (3) 11 / 10 蒲 郡
 - ◇ 次年度の行事予定
- ◇ 各専門委員会の当面する課題
- ◇ 校長研修会「教育あれこれ」安城市教育委員会教育長 杉山春記氏 講話

5 専門委員会

- (1) 4 / 10 (紙面開催)
 - ◇ 各専門委員会の構成
- ◇ 令和2年度事業計画の検討

- (2) 4月 \sim 2月
 - ◇ 各専門委員会を随時開催

6 大会派遣関係(すべて中止→大会報告は要項等を参考に実施)

(1) 第60回東海北陸中学校長会研究協議会

富山大会 7/2、3 富山市

(2) 第71回全日本中学校長会研究協議会

和歌山大会 10 / 22、23 和歌山市

(3) 第 55 回東海·北陸地区連合小学校長会教育研究大会

福井大会 10 / 15、16 福井市

(4) 第72回全国連合小学校長会研究協議会

京都大会 10 / 29、30 京都市

令和2年度 三河小中学校長会事業報告

開催地の※印は県専門委員会への参加

法制委員会		加展地方 水 門 (水) 1 人类 (水) 2 川
4 · 10	(紙面開催)	令和2年度三河法制委員会組織づくり、事業計画の検討
4 · 15	(紙面開催)	令和2年度県法制委員会組織づくり、事業計画の検討
5 · 23	※名古屋	委員研修、最近の法令・規則の変更点、当面する課題及び調査研究のテーマ等の検討
5 · 29	蒲 郡	最近の法令・規則の変更点、当面する課題及び調査研究のテーマ等の 検討
6 · 12	※名古屋	委員研修、当面する課題及び調査研究内容・方法等の検討
6 · 26	蒲郡	当面する課題及び調査研究内容・方法等の検討
9 · 8	※名古屋	委員研修、当面する課題検討、調査研究の途中経過報告
9 · 15	蒲 郡	当面する課題検討、調査研究の途中経過報告
11 · 24	※名古屋	委員研修、当面する課題及び調査研究の年度末報告書の検討
$12 \cdot 4$	蒲 郡	当面する課題及び調査研究の年度末報告書の検討
2 · 2	(紙面開催)	今年度のまとめと来年度の計画づくり、当面する課題等に関する情報 共有
2 · 12	蒲 郡	今年度のまとめと来年度の計画づくり、当面する課題等に関する情報 共有
教育条件委員	슾	
4 · 10	(紙面開催)	令和2年度委員会組織づくり、事業計画の検討
5 · 13	※名古屋	県教育予算陳情項目の検討
5 · 22	※名古屋	県教育予算陳情事項・資料の検討
6 · 8 7 · 28	※名古屋 蒲 郡	県教育予算陳情書・陳情説明資料の検討 三河郡市の教育諸条件整備状況に関する調査
9 · 4	## ## ※ 名古屋	具教育予算陳情活動資料の検討
10 · 6	※ 名古屋	県教育予算学習会
10~11月	各郡市	関係機関・県議会議員へ県教育予算陳情活動
11 · 4	※名古屋	県退職手当等説明会
11 · 30	※名古屋	県教育予算陳情活動のまとめ、県人事委員会報告の内容と分析
2 · 16	※名古屋	令和3年度県教育予算(内示)の検討、令和2年度の反省
2 · 19	蒲 郡	令和3年度三河郡市教育予算等の検討、令和2年度の反省
学校経営委員	슾	
4 · 10	(紙面開催)	三河委員会組織づくり、事業計画審議、4 研究大会参加体制づくり
4 · 15	(紙面開催)	県委員会組織づくり、事業計画検討、4 研究大会参加検討
5 · 26	※岡 崎	県委員会組織確認、事業計画確認、4 研究大会開催·参加状況確認
6 · 2	岡崎	4 研究大会開催・参加状況確認、研究協議会(東陸中)紙面にて、教育 的刊行物事業検討
9 · 4	(紙面開催)	研究協議会(東陸小)、令和2年度研究大会情報
11 · 13	※名古屋	県全体の令和3年度研究大会(石川・静岡)参加体制検討、紙面開催
11 . 97	岡崎	となった4研究大会の研修 令和3年度研究大会(石川・静岡)参加体制検討、紙面開催となった4
11 · 27	川川川	市和3年度研究人会(石川・静岡)参加体制機割、私国開催となった4 研究大会の研修
2 · 5	※岡 崎	県全体の活動内容のまとめ、令和3年度事業計画立案・検討・確認、
		教育的刊行物計画確認
2 · 16	豊 橋	三河の活動内容のまとめ、令和3年度事業計画立案・検討・確認、教
進路指導委員	슛	育的刊行物計画確認
4 · 10	(紙面開催)	令和2年度委員会組織づくり、令和2年度の努力目標の検討
5 · 22	岡崎	生徒数・学級数調査結果の把握と関係機関への要望事項の検討
6 · 19	岡 崎	三河地区私立高校との情報交換会・懇談会(第1回)
9 · 15	豊 橋	三河地区私立高校との情報交換会・懇談会(第2回)
9 · 29	岡崎	西三河地区私立高校合同説明会(4 校)に参加

$9 \cdot 30$ $10 \cdot 2$ $11 \cdot 16$ $11 \cdot 17$ $11 \cdot 18$ $11 \cdot 20$ $11 \cdot 25$ $2 \cdot 26$	岡豊豊豊刈岡岡蒲崎橋橋田谷崎崎郡	西三河地区私立高校合同説明会(3校)に参加 東三河地区私立高校合同説明会(5校)に参加 公立高校推薦入学実施要項説明会(東三河地区)に参加 公立高校推薦入学実施要項説明会(西三北地区)に参加 公立高校推薦入学実施要項説明会(西三南地区)に参加 公立高校推薦入学実施要項説明会(西三東地区)に参加 公立高校進学希望生徒数の調査等の検討、情報交換 令和2年度のまとめと反省、次年度の計画
保健体育委員 4 · 10 4 · 15 5 · 22 5 · 22 6 · 26 9 · 8 9 · 8 11 · 4 11 · 4 1 · 15 1 · 15	員会 《終》(《《紙面開開開始》(《《紙面 》(》(》 《《紙面 》 《 》 《 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》 》	令和2年度委員会組織づくり、努力目標・研究の進め方検討 令和2年度研究体制づくり、事業計画、研究の進め方検討 研究内容の方向づけ、調査内容の検討 調査内容及び調査項目の検討 調査内容の審議・決定 調査全体の審議、令和4年度研究の検討 アンケート内容の検討、調査研究の計画案作成 調査内容の検討(1次案)、研究計画の検討 アンケート内容の審議、調査研究の計画案作成 調査内容の審議(2次案)、調査研究の計画案作成 調査内容の審議(2次案)、調査研究の計画案作成 次年度の研究目標の検討、事業計画案の作成、アンケート内容の決定 調査内容の決定、調査の実施方法検討、次年度の事業計画案作成、令 和4年度研究の検討
福祉安全委员 4 · 10 4 · 15 5 · 12 5 · 29 6 · 19 9 · 9 10 · 9 11 · 11 11 · 20 1 · 29	急会 (紙(紙) (紙(紙) (紙) (紙) (紙) (紙) (紙) (紙) (紙)	組織づくり、事業計画、年間活動計画の検討 県委員会組織づくり、事業計画、年間活動計画の検討 調査研究活動の推進計画と先進事例の検討、今後の活動計画の確認 調査研究活動の推進計画と先進事例の検討、今後の活動計画の確認 先進校へ先進事例原稿依頼 調査研究のまとめの検討(内容・役割分担) 先進事例原稿の校正、配本計画 調査研究のまとめ配本(三河部)、令和3年度の計画 調査研究のまとめ配本(尾張部)、令和3年度の計画 令和2年度の反省、令和3年度の計画
給食委員会 4·10 4·15 6·6 6·30 7·7 8·6 9·11 11·11	(紙紙) (紙紙) (紙) (紙) (選) (選) (選) (選) (選) (選) (選) (選	令和2年度委員会組織づくり・事業計画の検討 令和2年度県委員会組織づくり・事業計画の検討 調査結果の分析・検討、取組事例の検討(小委員会) 調査結果の分析・検討、講演会研修「県学校給食会の動向」「食育推進 事業」 令和元年度の調査結果について整理・分析 情報交換 「栄養教諭の声」の整理と分析(小委員会) 研究のまとめの検討、取組事例の整理・検討(小委員会) 研究のまとめの検討、次年度研究調査の検討、研究集録印刷・配付計 画の検討 2年間の調査研究活動の報告、次年度の事業計画等の検討、情報交換 2年間の調査研究活動の報告、次年度の事業計画等の検討、情報交換
生徒指導委員 4 · 10 4 · 15 6 · 1 6 · 4 6 · 22	員会 (紙面開催) ※(紙面開催) ※(紙面開催) (紙面開催) ※名古屋	令和2年度委員会組織づくり、事業計画の検討 令和2年度委員会組織づくり、事業計画の検討 調査研究テーマの確認と、調査の方向性検討 調査研究テーマの確認と、調査の方向性検討 調査研究アンケート内容検討、研修「生徒指導に関する現状と重点施策」

8 · 6	蒲 郡	調査研究アンケート内容検討、研修「トランスジェンダーの子どもたち」
$9 \cdot 7$	※名古屋	調査研究アンケート内容検討、研修「少年非行の情勢」
10 · 8	蒲 郡	調査研究アンケート内容検討、研修「生徒指導に関する現状と重点施策」
11 · 2	※名古屋	調査研究アンケート準備、研修「自己肯定感・自己有用感を高める3
		つの力を育成する場の工夫」
12 · 3	蒲 郡	調査研究アンケートまとめの方向性検討、研修「少年非行の情勢」
1 · 18	※(紙面開催)	調査研究アンケートまとめ検討、活動の振り返りと次年度活動方針の
		検討
2 · 5		調査研究アンケートまとめ検討、活動の振り返りと次年度活動方針の
1+ □11 <u>-1-</u> 1=5+1-→	- -	検討
特別支援教育		◇知り欠座の禾具◇知嫌べたり、 東豊弘亜の松計
4 · 10 4 · 15	(紙面開催) ※(紙面開催)	令和2年度の委員会組織づくり、事業計画の検討 令和2年度の委員会組織づくり、事業計画の検討
6 · 24	※名古屋	令和 2 年度の安貞云組織 フトリ、事業計画の候前 令和 2 年度の研究テーマ・研究計画の検討
$\frac{0.24}{7.14}$	岡 崎	全連小・全特協・県特支委員会調査依頼、研修・学習会、情報交換
10月	各地区	実態調査実施
10 · 23	※名古屋	研修会「特別支援教育充実のために」
1 · 20	※名古屋	調査報告のまとめ(紙面開催)
2 · 10	蒲 郡	研修・学習会、調査結果について、各地区の取組
2 · 17	※名古屋	令和2年度のまとめと令和3年度事業計画の審議
修学旅行特別		
4 · 10	(紙面開催)	令和2年度委員会組織づくり、事業計画の検討
4 · 15	(紙面開催)	令和2年度県委員会組織づくり、事業計画の検討、当面する課題の共
Г 1Г	(死去即便)	通理解
5 · 15 6 · 19	(紙面開催) ※ 名古屋	令和 2 年度研究主題・研究調査計画の検討 令和 4 年度連合体申込文書の確認、感染症対策等に関わる情報交換
6~7月	各郡市	市和4年及建市体中及文書の雑誌、悠呆症が東寺に関わる情報文映 令和4年度連合体列車申込
$10 \cdot 23$	※名古屋	令和2年度実態調査項目の検討、令和4年度連合体利用最終確認、感
10 20	~~ 石口庄	染症対策等に関わる情報交換
11~12月	各郡市	令和 2 年度実態調査
1 · 25	※名古屋	令和2年度各事業の報告と反省、令和3年度事業計画の検討、令和3
		年度修学旅行の情報交換
学校力向上特		
5 · 27	みよし	令和2年度委員会組織づくり、調査研究内容の確認、報告書の作成計
C O H	夕那士	画検討、執筆分担
6~9月 10·30	各郡市 (紙面開催)	原稿執筆 報告書原稿審議
$10 \cdot 30$ $11 \cdot 25$	(紙面開催)	報告書初校審議
$2\sim3$ 月	各郡市	報告書の配付、報告書活用アンケート実施
$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	蒲郡	調査研究成果概要の報告①
2 · 26	蒲郡	調査研究成果概要の報告②
教育課題特別		
4 · 10	(紙面開催)	令和2年度委員会組織づくり、事業計画の検討
5 · 26	※名古屋	調査研究活動の概要(研究テーマ・事業計画・調査内容等)の検討
7 · 14	※名古屋	アンケート調査内容(設問)・調査方法の検討
10 · 20 12 · 9	※名古屋 ※夕士屋	アンケート調査内容(設問)の検討 アンケート調査内容(設問)・調査方法の検討・対象校の選定
12・9 12~1月	※名古屋 各地区	アンケート調査内谷(設問)・調査方法の快制・対象校の選定アンケート調査実施
$1 \cdot 29$	**名古屋	令和3年度アンケート調査内容(設問)の検討、令和2年度の反省、
1 43		令和3年度の活動計画の検討
		FINALIZA CIRZARI HI CIZRA

令和 2	年度 三	河小中学校	長会	般会計 決	· 算書 ^(単位:円)
収入総額	5,616,013	支出総額 4,745,0		差引残高	870,979

収入の部

	項目		当初予算額	補正予算額	決 算 額	増減	備考
会		費	2.928,000	2,928,000	2,928,000	0	6,000 円×488 人
助	成	金	1,621,998	2,238,000	2,238,000	616,002	愛知県小中学校長会、愛知県教育振興会、愛知教育文化振興会、日本 教育公務員弘済会愛知支部、教職員共済生活協同組合愛知県支部
雑	収	入	12	15	23	11	預金利息
繰	越	金	449,990	449,990	449,990	0	
合		計	5,000,000	5,616,005	5,616,013	616,013	

支出の部

	項目	1	当初予算額	補正予算額	決 算 額	補正予算比較増減	備考
総	会	費	750,000	500,000	478,242	▲ 21,758	定期総会費
会	議	費	800,000	600,000	504,060	▲ 95,940	役員・理事・評議員・郡市代表者会等
研	究 調	査 費	1,150,000	1,800,000	1,693,895	▲ 106,105	専門・特別委員会研究調査費 へき地教育研究協議会助成等 研究費(1,000 円×488人)
活	動	費	900,000	1,300,000	863,213	▲ 436,787	研修活動費、印刷製本代等 ホームページ作成費・更新費
渉	外	費	700,000	700,000	656,042	▲ 43,958	役員渉外費等
通	信	費	350,000	400,000	346,932	▲ 53,068	切手、はがき、郵送代等
雑		費	300,000	250,000	202,650	▲ 47,350	文具等事務用品代等
予	備	費	50,000	66,005	0	▲ 66,005	_
合		計	5,000,000	5,616,005	4,745,034	▲ 870,971	

(単位:円、▲は減額を表す)

令和 2 年度 三河小中学校長会 特別会計

681,848

支出総額

___ (単位:円)

899.307

収入	の部						
	項目		予 算 額	決 算 額	比較増減	備	考
会		費	829,600	829,600	0	1,700 円 ×488 人	
雑	収	入	8	11	3	預金利息	
繰	越	金	751,544	751,544	0		
合		計	1,581,152	1,581,155	3		

支出の部

収入総額

	項目		予 算 額	決 算 額	比 較 増 減	備考
慶	弔	費	450,000	193,078	▲ 256,922	香料、祝電、弔電等
対	策	費	650,000	488,770	▲ 161,230	研究費 (1,000 円 ×488 人) 振込手数料
予	備	費	481,152	0	▲ 481,152	
合		計	1,581,152	681,848	▲ 899,304	

(単位:円、▲は減額を表す)

(単位:円)

令和 2 年度 三河小中学校長会 拠出金会計 決算書

基金の部

1 基	金の	(単位:円)			
	項		目		金	額
積	立	金	0)	部	14,65	52,569
そ		0)		他		0
	差	引残	高		14,65	52,569

1,581,155

2 拠出金の部

項	目	金額
収	7	4,122,950
48	八	内訳:繰越金、拠出金、利息
支	出	1,800,000
X	Щ	内訳:研修、活動、渉外、通信、雑費等
差引	残 高	2,322,950

差引残高

令和2年度一般・特別・拠出金会計について、慎重に監査した結果、正確・適切であることを認 めます。

令和3年3月20日

会計監査 伊藤正徳 印 会計監査 波多野 愼 次 印

令和3年度 三河小中学校長会事業計画

- 法制委員会 1 教職員の勤務時間等に関する法的な課題研究
 - 2 教職員評価制度に関する調査研究
 - 3 学校行事実施に伴う教職員の服務上の問題検討
 - 4 勤務の割振り変更に伴う教職員の服務上の問題検討
 - 5 改正給特法における諸課題の研究
- 教育条件 1 教職員定数改善と配置の工夫に関する調査研究
- **委員会** 2 教育諸条件の整備・充実に関する調査研究
 - 3 教職員給与等の改善と処遇の充実に関する調査研究
- 学校経営に関する研究推進・情報収集
- 委員会2 東陸小・全連小(石川)、東陸中・全日中(静岡)の両大会に向けての研究推進
 - 3 児童生徒の健全育成と家庭教育に寄与する教育的刊行物の編集と普及活動
- 進路委員会 1 自己の将来に向けた生き方を育てる進路指導の全体的運営のあり方の研究
 - 2 入試制度のさらなる円滑な実施に向けての対応をはじめ、進路指導に関わる様々な課題を解決するための調査研究
- - 2 小学校の学校体育における体力・運動能力向上に関わる実態調査をもとにした今日的課題と対策についての検討
- 福 祉 安 全 1 令和 2 年度「調査研究のまとめ」の活用を校長研修会等で啓発し、校長の危機管理意識を高め 委 員 会 る活動の推進
 - 2 今日的な福祉安全にかかわる課題を明らかにし、県内小中学校の安全教育がより充実するための調査研究を検討
 - 3 教職員の福利厚生の充実と改善についての研修及び情報提供
- **給食委員会** 1 「生きる力」を育む、健康教育の推進と食に関する指導の充実を目指して、学習指導要領(平成29年改訂)で求められている「学校における食育推進」を視点とした調査研究
 - 2 学校経営における栄養教諭と連携した食育推進体制についての調査研究
 - 3 学校・家庭・地域が連携した食育の推進についての調査研究
 - 4 栄養教諭のOJTについての調査研究
- 生 徒 指 導 1 諸問題の未然防止につながる開かれた積極的な生徒指導に関する調査のまとめ
- **委員会** 2 三河における生徒指導の実情を踏まえ、関係機関や専門家から助言を仰ぎ、対策・予防の在り 方を検討
 - 3 連携を要する諸機関や特色ある取組をしている学校からの情報など共有可能な情報の発信
- 特別支援教育 1 インクルーシブ教育システム構築に向けた環境整備の調査・研究
- 委員会2特別支援学級や通級による指導の充実に向けた校内支援体制の研究
 - 3 特別支援教育の先進的な取組についての調査・研究
- 修学旅行特 1 尾張地区や名古屋地区と連携し、「主体的・対話的で深い学びの視点に立った With コロナでの 別 委 員 会 修学旅行」の実現に向けた、コロナ禍における情報交換と緊急課題の特定、周知徹底
 - 2 中学校修学旅行の実態調査をタイムリーに行い、実施形態、旅行費用、目的地、安全対策の実態を把握し、新型コロナウイルス感染症予防に努めながら安全で充実した修学旅行の実現
 - 3 令和5年度中学校修学旅行における連合体利用校を調査し、適切な入付を実施
- 学校力向上 1 先進地区や学校への視察、関連研修会参加を通して調査項目の確定
- 特別委員会 2 働き方改革の取組と課題について各郡市で調査
- 教育課題 1 プログラミング教育並びに ICT 教育充実への取組の現状と課題
- 特別委員会 2 3 観点に統一された各教科の単元別学習状況の評価から評定への総括に視点をあてた各学校の (県) 取組の状況

令和3年度 三河小中学校長会 一般会計 予算

(単位:円)

収 入 総 額 5,400,000 支 出 総 額 5,400,000 差 引 残 高 0

収入の部

Ą	頁目		予 算 額	備考
会		費	2,922,000	6,000 円×487 人
助	成	金	1,607,009	愛知県小中学校長会、愛知県教育振興会、愛知教育文化振興会、日本教育公務員 弘済会愛知支部、教職員共済生活協同組合愛知県支部等
雑	収	入	12	預金利息等
繰	越	金	870,979	
合		計	5,400,000	

支出の部

項目	予 算 額	備考
総 会 費	750,000	定期総会費
会 議 費	800,000	役員・理事・評議員・郡市代表者会等
研究調査費	1,150,000	専門・特別委員会研究調査費、へき地教育研究協議会助成等
活 動 費	1,100,000	研修活動費、全国大会資料代、印刷製本代、ホームページ更新費等
渉 外 費	700,000	役員涉外費等
通信費	550,000	切手、はがき、郵送代、リモート会議費等
雑費	300,000	封筒、用紙、文具等事務用品代等
予 備 費	50,000	
合 計	5,400,000	

〈備考〉項目間の流用を認める。

令和3年度 三河小中学校長会 特別会計 予算

(単位:円)

収入総額	頁 1,727,215	支 出	総 額	1,727,215	差	引	残 高	0	

収入の部

項	目	予 算 額	備
会	費	827,900	1,700 円 ×487 人
雑収	入	8	預金利息
繰越	金	899,307	
合	計	1,727,215	

支出の部

項目	予 算 額	備考
慶 弔 費	450,000	香料、祝電、弔電、見舞、記念品代等
対 策 費	650,000	総会費等
予 備 費	627,215	
合 計	1,727,215	

〈備考〉項目間の流用を認める。

令和3年度 会費及び負担金

小 学 校

中学校

三 河 校 長 会 費 三河校長会費 7,700 円 7,700 円 県 校 長 会 費 県 校 長 会 費 21,000 円 21,000 円 東海北陸小会費 1,000 円 東海北陸中会費 1,000 円 全 連 小 会 費 6,500 円 全日中会費 7,500 円

三河小中学校長会規約

名 称

第1条 本会は、三河小中学校長会と称し、事 務所を会長の在任校に置く。

目 的

第2条 本会は、三河小中学校相互の連絡を密 にし、教育の振興発展を図り、教育文化 の向上に寄与することを目的とする。

事 業

- 第3条 本会は、前条の目的を達成するために 次の事業を行う。
 - 1 学校の管理運営に関する調査研究
 - 2 教職員及び児童生徒に関する事項
 - 3 その他本会の目的達成に必要な事項

組 織

第4条 本会は、三河地区に所在する小中学校 の校長会をもって組織する。

本会は、小学校部、中学校部を置くことができる。

役 員

- 第5条 本会の役員と職務は次の通りとする。
 - 1 会長 1名 本会を代表し、会務を総 理し、兼ねて会議を招集し議長となる。
 - 2 副会長 4名 会長を補佐し、会長 事故あるときはこれを代理する。
 - 3 常任委員 若干名 常任委員会を構成する。
 - 4 評議員 若干名 評議員会を構成する。

- 5 理事 若干名 理事会を構成する。
- 6 郡市代表 若干名 各郡市を代表 し、郡市代表者会を構成する。
- 7 庶務・会計 若干名 本会の庶務・ 会計を行う。
- 第6条 本会の役員は、次の方法により選出する。
 - 1 会長・副会長は会員中より評議員会において選出し、総会の承認を得る。
 - 2 常任委員は、評議員会において評議 員中より選出する。
 - 3 評議員は、各郡市において選出する。
 - 4 理事は、会長が評議員会にはかって 委嘱する。
 - 5 郡市代表は、各郡市校長会長をあてる。
 - 6 庶務・会計は、会長が評議員会には かって委嘱する。
- 第7条 本会の役員の任期は1か年とする。た だし再任を妨げない。補欠役員は、前任 者の残任期間とする。

会計監査

第8条 本会に会計監査を2名置き、本会の会計を監査する。

会計監査は、評議員会において選出し 総会の承認を得る。会計監査の任期は、 本会の役員に準ずる。

顧 問

第9条 本会に顧問を置くことができる。

顧問は、評議員会の推せんにより、会 長が委嘱する。

会 議

第10条 本会は、次の会議を開く。

1 総会 総会は本会の最高議決機関で あって全会員をもって構成し、毎年1 回以上開催する。

付議事項は次の通りとする。

- (1) 予算・決算に関する事項
- (2) 役員及び会計監査の選任に関する事項
- (3) 事業の計画及び報告に関する 事項
- (4) 規約の改廃に関する事項
- (5) その他重要事項 やむを得ない場合は、評議員会 をもって総会に代えることができる。
- 2 評議員会 評議員会は総会につぐ議 決機関であって、議案を審議し、議決 することができる。
- 3 常任委員会 常任委員会は重要事項 を審議する。
- 4 理事会 理事会は会務を協議し議案 を作成する。
- 5 郡市代表者会 郡市代表者会は、郡 市の連絡について協議する。
- 第11条 議事の議決は出席者の過半数で決し、 可否同数のときは議長の決するところに よる。

専門委員会

第12条 本会の事業を遂行するために、次の専 門委員会を置く。

- · 法制委員会
- · 教育条件委員会
- · 学校経営委員会
- ·進路委員会
- · 保健体育委員会
- ·福祉安全委員会

- ·給食委員会
- · 生徒指導委員会
- ·特別支援教育委員会

専門委員会には、それぞれ委員長1 名、副委員長1名を置く。各専門委員 長は、必要に応じ議事に参画する。

特別委員会

第13条 本会は必要に応じて特別委員会を置く ことができる。

숲 計

第14条 本会の経費は、会費その他の収入を もってこれにあてる。

第15条 本会の会計年度は、4月1日に始まり、 翌年3月31日をもって終わる。

内規・規定

第16条 本会は、必要に応じて、別に内規また は規定を設けることができる。

付 則

第1条 本規約は、昭和36年5月30日からこれ を施行する。

> 昭和39年5月30日改正 昭和42年5月24日改正 昭和46年5月22日改正 昭和53年5月13日改正 平成9年5月9日改正 平成14年5月1日改正 平成20年5月7日改正 平成23年5月10日改正 平成25年5月8日改正

三河小中学校長会内規及び規定

役員に関する内規

- ○規約第6条に定める役員の選出に当たっては 地域ならびに小・中の均衡を考慮する。
 - 1 常任委員は25名以内とし、規約第5条6項の郡市代表全員を含めるものとする。
 - 2 評議員は各郡市ごとに20校までは2名、 40校までは4名、60校までは6名、61校以 上は8名とする。
 - 3 理事は庶務・会計及び会長が必要と認め る若干名とする。
 - 4 庶務は3名、会計は2名とする。ただし 必要に応じてそれぞれ補佐を置くことがで きる。
 - 5 会長の職務代理者を必要とする場合は常 任委員会においてこれを決める。

専門委員会に関する内規

- ○規約第12条に定める専門委員会の任務は次の 通りとする。
 - · 法制委員会
 - ア 関係法規に関する事項
 - イ その他法制に関する事項
 - · 教育条件委員会
 - ア 教職員の定数・給与に関する事項
 - イ 教育予算・教職員の待遇に関する事項
 - ウ その他教育条件に関する事項
 - · 学校経営委員会
 - ア 教育内容及び教育方法・教職員の研修 に関する事項
 - イ 各種研究大会に関する事項
 - ウ その他学校経営に関する事項
 - ·進路委員会
 - ア 児童生徒の進学に関する事項
 - イ 生徒の就職に関する事項
 - ウ その他児童生徒の進路に関する事項
 - ·保健体育委員会
 - ア 児童生徒の体位体力の向上に関する事項
 - イ 児童生徒・教職員の保健に関する事項
 - ウ 体育的部活動に関する事項
 - エ その他保健体育に関する事項

- ·福祉安全委員会
 - ア 児童生徒・教職員の福祉に関する事項
 - イ 安全・災害・環境に関する事項
 - ウ その他福祉安全に関する事項
- ・給食委員会
 - ア 給食の管理運営に関する事項
 - イ 給食指導に関する事項
 - ウ その他給食に関する事項
- · 生徒指導委員会
 - ア いじめ・不登校に関する事項
 - イ 心の教育に関する事項
 - ウ その他生徒指導に関する事項
- · 特別支援教育委員会
 - ア 特別支援教育の推進に関する事項
 - イ 就学支援に関する事項
 - ウ その他特別支援教育に関する事項

慶弔に関する規定

- ○この慶弔規定は、会員の慶弔ならびに災害・ 死亡等の場合について規定する。慶弔は、次 によって金品を贈り、その意を表す。
 - 1 会員死亡の場合
 - ・香料50.000円、生花一対
 - · 各郡市代表会葬
 - 2 会員の家族死亡の場合
 - (1) 配偶者
 - ·香料10,000円 代表会葬
 - (2) 実父母、同居の養・義父母
 - ・本会名で弔電
 - 3 会員住居の火災・風水害等
 - ・見舞金10,000円 代表慰問
 - 4 被害甚大な学校火災・風水害等
 - ・見舞金 5,000円 代表慰問
 - 5 その他の場合は、その都度会長・副会長 が協議して決定し、その記録を残す。